

[C]

以三定便^{ていびん}ヲ一啓上仕候、しかれハ一 生糸氣配之義茂不景」氣にて頓
与^と取引^{うすく}薄、誠ニ」国入^(因)申候、夫々一兩日之内ニ」入船有^レ之由、皆
異人」其入津^{にゅうしん}待居候様子にて、「三四日ハ更々売込取引」無^ニ御座
候、何れ入津」次第変化御注進^{ちゅうしん}申上候、「此段不^{あしからず}悪御承引可^レ被^レ
下候、」且熨斗^{のしと}糸之義も、先達頃」より少々不印^{ふじるし}模様、「只いきを
ゑさかなる品ハ、種紙^{ばかり}計ニ御座候
扱^{さて}、洋之義日々高下、」左候得ハ睨^{しかと}与いたし候処、相分不^レ申
昨夕刻五拾九匁八分四五^(厘)リ、「今朝五拾九匁八分八九^リと」五拾
九匁九分、但是ハ相場之」取引無^レ之、只今取引」之処ハ五拾九匁
七分五^リ

生糸左ニ

下仁田一撰

〔七百八九拾枚と
七百六拾七拾枚

吉井 刃品

七百六七拾枚

富岡

信州上物

同 断

前橋一撰

七百五六十枚

同上物

〔七百枚
六百七八十枚

大間々

七百式三十枚
売込

針道

七百七八十枚

浜附

六百八九十枚

右成行ニ候得とも、当節」手合^{てあわせ}相成候品ハ、信州・」下仁田辺の
品計、前橋・」大間々・奥州此刃品」誠ニ買人薄、頓与当惑」仕
候、下拙店^{げせつ}荷物義」百箇余り御座候得とも、「御心配ニハ不^レ及、何
れニも」段々売込いたす」心意ニ候間、不^レ悪御承引」可^レ被^レ下候
此後、変化有^レ之候得ハ、「急速御進^{ちゅうしん}」注可^ニ申上^ニ候

種紙相場左ニ

信州上物

三枚式三分

米沢同

三枚五六分

上武同

壹枚七八分
式枚四五分迄

右成行候得ハ、生糸買入」候異人も矢張^{やはり}其」けむニまかれ、種
方へ」も手出して見ル様成事ニ」候得ハ、生糸之義少々間ニ相成」
申候、此段御承引可^レ被^レ下候

(明治初年)

八月十六日

同

忠三郎

藤井様

加藤様